

〔史料紹介〕

『邦訳 日葡辞書』⑨

——わが国中世の児童文化史研究によせて——

M・M・M

M字で始まる語

マウケノキミ (儲けの君)

国王の嗣子である親王。

モウキ (朦気)

父とか子どもとかに死なれて憂鬱であること、または、その悲しみ

モリ (守)

養育をする人。また、番人。

ヲモリ (御守) 貴人の傳育係り。

モテアソビ (遊び)

子供などが遊び道具にし、気慰みにする物。

マウシゴ (申し子)

祈願をこめて得た息子、または、娘。

ムカイバラ (向ひ腹)

同じ一人の男の正妻と妾との二人の婦人が、時を同じくして妊娠していること。

ムサボリカカリ、ル、ツタ (むさぼりかかり、る、った)

子供や女などがするように、喧嘩している者同士が互いにつかみ合う。

ムサン (六指)

六個の小石を使ってする、*aleneque* に似た或る遊び。

1) *aleneque* は小石、または小石を使ってする遊び。

ムスコ (息子)

男の子。

ムスメ (娘)

女の子。

ムツカリ、ル、ツタ (むつかり、る、った)

泣く。婦人語。ただし、貴人の子どもについて言う場合に

は、男の人もまたこの語を用いる。

ムツケ、クル、ケタ（むつけ、くる、けた）

弱り衰えて、瘦せる。または、次第に衰弱する。特に、家で飼っている馬や鳥について言い、人間にも専ら子どもについて用いる。

ムツキ（襦袢）

幼児の身体の外面の部分にあてて、よごれないようにするための麻布、または、布ぎれ。

N字で始まる語

ナデ、ツル、デタ（撫で、づる、でた）

何か物の上にやさしく手をかける。

ナデアゲ、グル、ゲタ（撫で上げ、ぐる、げた）

頭の上に手をかけて髪の毛を上げる。または、他の物の上に手をかける。

（例）フタリノ ワカドモヲ サユウノ ヒザニ オイテ

オクレノ カミヲ ナデアゲル（二人の若どもを左右の

膝に置いて、おくれの髪を撫で上げる）二人の少年を左

右の膝の上に乗せ、その頭に手をかけてやさしく髪の毛を上へ上げてやるのであった。

ナデツケ、クル、ケタ（撫で付け、くる、けた）

何か物を手でさすつくつくつける、あるいは、固定させる。

（例）ヒトラ ナデツクル（人を撫で付くる）人にやさしくしてやって自分の見方につける、手なすける。

ナガシ、ス、イタ（流し、す、いた）

水やその他の液体の物を流れさせる。

コヲ ウミ ナガス（子を産み流す）婦人が、その時期が来ないうちに流産する。

ナグサミグサ（慰みぐさ）

ナグサミ（慰み）に同じ。気晴らし、遊び。詩歌語。

ナイシヤク（内戚）

父方の親戚。

ガイシヤク（外戚）母方の親戚。

ナン（男）

オノココ（をのこ）男子。

ナンゴ（何個）

相手が拳の中に小石を何個握りしめているかを当てて行なう遊戯の一種。

（例）ナンゴヲ ヨブ（何個を呼ぶ）この遊戯をする。

ナンタイ（男性）

男子。

（例）ナンタイ、ニョタイ（男性、女性）男と女と。

ナンシ（男子）

オノココ（男子）男の子。

ナンシヨク（男色）

悪い、口にすべからざる罪患。

ナンザン(難産)

危険な、または、困難なお産。

(例) ナンザンニ オヨブ、ナンザンデ ゴザル(難産に及ぶ。難産でござる) 困難なお産をする。

ナキシタイ、ウ、ウタ(泣き慕ひ、ふ、うた) 涙を流して泣きながら、別れて行く人の後を追って行く。

ナライ(習ひ)

(例) ナライノ ミチ(習ひの道) 何か物事を学び習う方法。

ナリクセ(なり癖)

生まれつきの性質、あるいは、性癖。

(例) ヒトノ ナリクセ(人のなり癖) ある人が生まれつき持っている性癖、習慣、あるいは、身振り、しぐさ。

ナツケ、クル、ケタ(懐け、くる、けた)

鳥とか獣とかを飼ひ馴らす、あるいは、手なずける。時としては人間についても言う。

(例) コノヒトハ キジ ノ コ、オオカミノ コノ ヨ

ーニ ナツカレヌ(この人は雉の子、狼の子のやうに懐かれぬ) この人は雉の雛や狼の子が馴れないようになつかない。

ネダレ、ルル、レタ(ねだれ、るる、れた)

猫かぶりで詐欺を常習とする。

ネネ(ねね)

乳母のような婦人で、赤児を育てていつも腕に抱いている者。

ネンレイ(年齢)

トシノ ヨワイ(年の齢) 各人の年、すなわち、年齢。

(例) ネンレイ サカンナ ヒト(年齢壮んな人) 若い人、ネンサイ(年齢)

年、または年齢。

ネンショウ、ショウネン(年少、少年)

十歳までの男の子。

ニヤクダウ(若道)

ワカシユノ ミチ(若衆の道) 男色、あるいは、悪い行為。

ニヤクソウ(若僧)

若い坊主、すなわち、若い僧侶。

ニヨ(女)

女。

ニヨニン(女人)

婦人。

ニヨタイ(女体)

女の姿形、または、実体。

ニヨシ(女子)

女の子。または、婦人。

ニヨシヤウ(女性)

ニヨニン(女人)に同じ。婦人。

ニンギヤウ(人形)

ヒトノカタチ(人の形)人の像、または、人形、など。

ノアンビ(野遊び)

野原での遊び。

(例)ノアンビニヅル(野遊びに出る)野原に遊びに出

かける。

ノチノモノ(後の物)

すなわち、エナ(胞衣)婦人が分娩の時に排出する胎盤。

Q字で始まる語

ケチャク(家嫡)

イエノチャクシ(家の嫡子)家の長男。

ケホウ(家法)

ある家または一族の間に、代々行なわれてきたきまり、あるいは、しきたり。

ケイボ(継母)

ママハハ(継母)に同じ。まます母。

ケイコ(稽古)

習得したことの修練。または、試し。また、学習すること。

(例)ケイコガアガル(稽古が上がる)学習している技

芸が上達する。

ケイスウ(鶏雛)

ニワトリノヒナ(鶏の雛)雉の雛鳥、あるいは、雉の子。

文書語。

ケイシ(鶏子)

鶏の卵。

ケナイ(家内)

イエノウチ(家の内)家族、または、家中の人々。

ケンピン(巻餅)

小麦粉で作ったボーロ菓子。あるいは、練り粉菓子の一種で、曲がり重なるようにあぶってあり、厚い聖体パンに似ているもの。

ケウジ、ズル、ジタ(興じ、ずる、じた)

物を眺めて気晴らしをする、あるいは、物を好んで楽しむ。

ケウジ(教事)

オシユル、コト(教ゆる、事)教授すること、教義を教えること。文書語。

ケウミ(教味)

オシエノアジワイ(教への味はひ)教法や教義の味わい。文書語。

ケウシャ(教者)

オシユルモノ(教ゆる者)すなわち、シシャツ(師匠)教授し、忠告を与えなどする師。

キヤウシ(孝子)

シタガフ コ(孝ふ子) 従順な子。

1) キョウシの誤り

キキガキ(聞書)

学習したことや聞いたことを要約して書き集めること。また、その書き留めた要約、あるいは、抜粋そのもの。

クワイニン(懐妊)

妊娠していること。

(例) クワイニンシタ ニヨニン(懐妊した女人) 妊娠している婦人。クワイニンデ ゴザル(懐妊でござる) 妊娠している。

クワイライシ(傀儡師)

操り人形などを踊らせる人。

クワイタイ(懐胎)

クワイニン(懐妊)と同じ。婦人が妊娠していること。

クワンクワコドク(鰥寡孤独)

オンナ ヤモメ、オトコ ヤモメ、ミナシゴ、ヒトリミ

(寡、鰥、孤、独) 夫に死なれた女。妻に死なれた男。孤

児。および、孤独でやるべのない人。

クワシ(菓子)

果実。特に食後の果物を言う。

クワウニヨ(皇女)

タカイ ニヨニン(たかい女人) すなわち、ヒメミヤ(姫

宮) 王女、あるいは、姫君。文書語。

クワウタイシ(皇太子)

タカイ タイシ(たかい太子) すなわち、タウグウ(東宮)

嗣子たる皇子・王子。

R字で始まる語

ラクアンビ(楽遊び)

自由気ままな遊び。

ラクイバラ(落胤腹)

すなわち、サガリバラノ コ(下り腹の子) 妾腹の子。

ランブ(乱舞)

ミダレ マウ(乱れ舞ふ) 踊ったり歌ったりする遊び。

(例) ランブ スル(乱舞する) この遊びなどをする。

ラップ(乱舞)

多くの人々の声や楽器による、歌と音楽と。

(例) ラップヲスル(乱舞をする) 音楽に合わせて歌う。

リコウ(利口)

話し方が明敏で賢いこと。

(例) リコウヲ イウ(利口を言ふ) やや尊大な高ぶった態度で、賢いことを言う。